

令和7年度第3回嘉麻市立図書館協議会 会議録

1. 審議会等の名称 令和7年度第3回嘉麻市立図書館協議会
2. 開催日時 令和8年2月6日（金曜日）午前10時30分～11時25分
3. 開催場所 嘉麻市役所 碓井総合支所 2階 会議室4
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 出席者
 - (1) 委員
 - ・下川和彦会長・西田淳子副会長・森弘成委員・安藤裕子委員・古江和恵委員
 - ・水上京子委員・山口希代子委員・坂本光正委員
 - (2) 執行機関
 - ◎ 教育委員会生涯学習課
 - ・教育長 伊東新治・課長 末永康洋・課長補佐（兼文化推進係長） 松浦宇哲
 - ・主査 藤原千晶
 - ◎ 指定管理者
 - ・統括責任者 下田富美子・チーフ 藤本あすか
6. 傍聴人数 1人
7. 議題
 - 1) 令和7年度事業経過報告について
 - 2) その他
8. 審議の内容
(会議録の確認者の決定) → 下川会長に決定
 - 1) 令和7年度事業経過報告について・・・原案のとおり承認
資料1-1については事務局（指定管理者）から、資料1-2については事務局（生涯学習課）から補足説明を行った。
(説明要点)
指定管理者より
【資料1-1】
 - ・定例行事及び調べる学習コンクール等の説明
生涯学習課より
【資料1-2】
 - ・事業成果指標の報告
(主な質疑応答)
委員：ボランティアスキルアップ研修会については、来年度は何か企画するのか。
事務局：具体的な内容は未定だが、来年度実施する予定としている。

委員：年間貸出数について、嘉穂図書館休館の影響はどの程度あるのか。

事務局：嘉穂図書館の臨時休館に伴い臨時窓口を設置しているものの、休館自体の影響については一定数あると考えている。

委員：小学校でのブックトークの実績が記載されているが、おはなし会とは違うのか。

事務局：一つのテーマに沿って様々なジャンルの数冊の本を紹介する手法である。子どもたちの知的欲求を喚起させることを主眼としている。

委員：バリアフリー読書体験会の詳しい報告を知りたい。実際に視覚障害の方は参加していたのか。

事務局：福岡県立図書館から専用の機器等を持ち込みいただき、実際に利用者に体験していただいた。併せて、市内4図書館での特集コーナーの設置も行った。視覚障害の方は参加されていなかったが、朗読ボランティア等関係者に体験してもらう良い機会となった。

委員：ボランティア活動登録者数については、目標値の70人を目指していくという意図があるのか。また、ボランティアの活動内容は読み聞かせや布絵本作り以外の活動もあるのか。

事務局：第6次アクションプラン策定時は、現状維持を目指して人数設定をしたところだが、残念ながら諸事情により、参加人数が減少している。また、活動内容としては、本の修理や配架のボランティア活動を行っている。

委員：登録人数が増加していくことも大切だが、活動内容の充実を視点にすることも必要だと感じている。

事務局：皆さんのご意見も踏まえて、次期第7次アクションプラン策定にあたって、指標のあり方を内部で検討していきたい。

9. その他

①嘉穂図書館及び山田図書館の臨時休館について

(説明要点)

・嘉穂図書館の再開時期及び山田図書館の空調機器更新による臨時休館を説明。

②嘉麻市調べる学習コンクール・全国コンクールの報告

(説明要点)

・嘉麻市立図書館が、活動賞を受賞。

・嘉麻市から全国コンクールに選出した19作品の内、1作品が奨励賞を受賞。

10. 配布資料

○令和7年度第3回嘉麻市立図書館協議会次第

○資料1-1 令和7年度事業経過報告について（事業報告）

○資料1-2 令和7年度事業経過報告について（事業成果指標報告）

上記に相違ないことを確認する。

令和8年2月10日

会議録確認者 下川和彦